

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	市長公室		
	課名	企画政策課		
	係名	企画調整係		
	記入者		電話(内線)	227

1. 事業の概要	
(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続
(2) 事務事業 の名称	城の内館跡の活用検討
(3) 事業の 優先度	B
(4) 総合計画での位置づけ	(6) 事業主体
① 事業の区分	主要事業
② 施策コード	34102 (総合計画掲載 ^ハ -ゾ ^ニ 79 ^ハ -ゾ ^ニ)
基本目標(政策)	3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)
基本施策	3-4地域資源を活用してにぎわいと交流を促進する観光の振興(観光)
施策	①地域資源を活用した観光の振興
施策内容	2交流拠点の形成
(5) 事業期間	(8) 事務分類
開始	年 月から
終了	年 月まで (力年)
	自治事務
	根拠法令

2. 事業の目的及び内容	
(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)
城の内館跡周辺整備事業	市の構想である「城の内館跡周辺整備構想」等を再検証し、市外の車で来る観光客などの交流拠点とすることができる。
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
<ul style="list-style-type: none"> 交流拠点としての活用を検討 県へ、県西振興協議会などを通じて、県施設の誘致を要望する。 歴史施設の復元と地場産業と観光を核とした県施設を整備する。 	第3次結城市総合計画後期基本計画で、観光拠点施設の整備の一つとして位置づけられた。後期基本計画終了年度のH12年度に概略基本構想を作成し、第4次結城市総合計画前期基本計画に広域交流拠点として位置づけされた。
(5) 事業をとりまく環境の変化 (社会環境、市民ニーズ等) や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
県施設の誘致を含め、様々な角度から検討する必要がある。	

3. 事業コスト					
行政評価 実施計画	実績内容の評価 検討・改善				
行政評価 実施計画	検討・改善内容を反映				
● 予算内訳	実績額 (千円)	当初予算額 (千円)	計画額・見込額 (千円)		
事業内容	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
(1) 事務事業費の コスト	事業費				
	合計				
	国庫支出金 (千円)				
	県支出金 (千円)				
	地方債 (千円)				
	その他特定財源 (千円)				
	一般財源 (千円)				
	合計 (千円)				
	補助・起債制度名				

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称		単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）							
指標名		目標値					
		実績(見込)値					
指標名		目標値					
		実績(見込)値					
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）							
指標名		目標値					
		実績(見込)値					
		達成率	%	%			
指標名		目標値					
		実績(見込)値					
		達成率	%	%			

5. 事業評価

(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。

(2) 項目別評価

評価項目・客観的評価				理由
必要性	事業の必要性	B	どちらとも言えない	
妥当性	実施主体の妥当性	B	どちらとも言えない	
	手段の妥当性	B	どちらとも言えない	
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	
公平性	受益者の偏り	B	どちらとも言えない	
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	
進捗度	事業の進捗	B	どちらとも言えない	

(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。
 城の内館跡は、中世の武家屋敷跡であり、歴史的に大変価値のある史跡である。このような魅力ある地域資源を有効に活用することは、本市にとって大変有意義である。

(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？

6. 事業の方向性判断

評価主体	28年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続 (成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続 (成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)	市の財政状況等を総合的に勘案しながら、拠点整備について検討していく。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり。